

## 会 議 概 要

●開催概要	
名 称	新バスシステム説明会（西蒲区）
日 時	平成25年8月25日（日） 午後2時から午後3時00分
場 所	巻地域保健福祉センター 1階 多目的ホール
説明者	新潟市 副市長、技監、都市政策部長、新交通推進課、都市交通政策課 新潟交通株式会社
参加者	28名
●会議内容	
<p>(1) 市民説明会（1巡目）開催結果の報告（新潟市）</p> <p>(2) BRT運行計画（案）（BRT当初導入時点）について（新潟市）</p> <p>(3) BRT当初導入時点のバス路線再編計画（案）について（新潟交通株式会社）</p> <p>(4) 質疑応答 ★発言者 ○新潟市発言 ●新潟交通株式会社発言</p> <p>★発言者1（男性）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今の説明とは関係なく個人的なことではあるが、月に2～3回ほど古町方面に行く。BRTの導入と巻～新潟駅間的高速バスとの関係はどうなるのか。具体的には、前は午後3時頃に巻に帰るバスがあったが、今は午後1時のバスを乗り過ごすと5時頃までなくなり不便になった。BRTの導入で高速バスも増便されるのか。</li> </ul> <p>●新潟交通株式会社</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今回説明したバス路線再編については高速バス運行と全く別の話であり、BRTの導入・バス路線再編に直接起因しての高速バスの変更を行うことはない。ただし、高速バス事業についても収支状況が厳しいことから、高速バス単独での変更はあり得るが、あくまでBRT導入・バス路線再編とは別なものである。</li> </ul> <p>★発言者2（男性）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今回は2回目の説明会であり、1回目の説明会でもいろいろ話はあったが、もう少し丁寧に市民に説明すべきである。以下の点について教えてほしい。</li> <li>・1点目は、市の予算で連節バスを購入とのことだが、事業者である新潟交通が購入しないのか。新潟交通の事業なのだから、市の税金を使わずに自らの予算で購入すべきではないのか。</li> <li>・2点目は、西蒲区は合併で新潟市となったが、バス利用については、越後線もあり、バスの本数も少なくなったことから、あまり関心がなかった。しかし、BRTが導入されると交通規制がされると聞いている。パンフレットでは良いことばかり書かれているが、デメリットや規制なども隠さずに聞かせてほしい。ここから、がんセンターなどの病院を利用するときに、バスもなくマイカーでなければ足がない人がいるが、そういった人のことを考えられているのか。</li> <li>・3点目は、前回のまちづくりトークでも話をしたが、連節バスは大きく、交通に支障が出てくる。大きなバスを走らせることで交通事故が起きる可能性</li> </ul>	

もあるが、どのように考えているのか。

- ・最後に、今のバスシステムで別に支障はないと思う。市は今後のことを考えてやっているのだろうが、市民からの声や要望を受けて行っているものではなく、突如として出てきた話であると感じる。新聞報道でもあったとおり時期早尚であり、すぐに予算にあげるのではなく、もっと時間をかけて進めるべきではないか。

#### ○新潟市

- ・1点目の交通事業者が直接やればよいのではないかとこの意見であるが、今回の事業は公設民営で取り組んでいる。これは、市が車両や交通結節点などのハードを整備することによって、交通事業者は初期投資をかけることなく、その分を郊外線の増便や料金制度といったサービスの拡充に使ってもらうことで、市民が使いやすい公共交通を実現しようというものである。
- ・2点目の交通規制などのデメリットについてであるが、交通規制は開業当初は現行の交通規制のなかでの運行を考えており、現在の交通規制と変化はない。その後は専用走行路を目指していくが、車線を減らした場合どうなるかなどの社会実験により慎重に検討したうえで進めていく。また、1巡目説明会でも説明したとおり、デメリットの大きな部分は乗り換えが生じることであるが、近くで乗り換えできるようにするなど、できる限り緩和していきたいと考えている。
- ・3点目の大きな連節バスにより交通事故が起こるのではないかとということであるが、連節バスは、車長は18mと長いものの車幅は通常のバスと変わらず、屈曲部があるため結構小回りのきくバスである。全国で連節バスを導入している都市に聞いても、連節バスを導入したことにより事故が増えたという報告は伺っていない。
- ・最後に、今やる必要はなく時間をかけて行うべきではないかという意見であるが、パンフレットや1巡目説明会で説明したとおり、新潟市のバス交通の実態は右肩下がりで、利用者数や便数などの減少が続いている状況にある。今後、高齢化社会で公共交通がなければ移動できない人が増えると想定されるなかで、今のうちから手だてを講じ、負の連鎖を止める必要があるため、早期に新バスシステムを運用したいと考えている。

#### ★発言者2（男性）

- ・交通規制は当初は行わないとのことであるが、どのような規制をいつ頃行うのか。市の予算を出す以上、細かいことを聴かせていただきたい。

#### ○新潟市

- ・将来的に新潟駅から古町の片側3車線あるところについては、バスの専用走行路を設けていきたいと考えている。その場合、必然的に一般車の走る車線は減ることになるが、柳都大橋や八千代橋、昭和大橋から東西堀に入るといったルートに一般車を誘導することで可能ではないかと考えているが、現地で先行的に社会実験を重ねて、交通流動の実態を踏まえたうえで考えていく。

#### ★発言者2（男性）

- ・これはお願いであるが、がんセンターなどの病院は予約時間がある。予約証明書などもあるので配慮してほしい。

○新潟市

- ・ご要望として承る。

★発言者3（男性）

- ・まず、BRTの路線図を見たが、実際に連節バスをこの路線に走らせたことがあるのか。最も車が混み合う時間帯、特に3分から4分で運行することだが、白山駅周辺は青山から新潟駅方面に常にバスが入り込んでくることになるが実証実験は行われたのか。それとも、これから行う予定なのか。
- ・また、市役所から第一高校前までは特に狭い道路になっているが、大きなバスが走って渋滞は発生しないのか。
- ・さらに、青山からの回送路も広い道路ではなく、混み合う路線だと思う。回送路については資料に記載がないが、検討されているのか。

○新潟市

- ・設定したルートのうち、新潟駅から市役所間と、第一高校から青山間については、平成20年に連節バスを借りて走らせた経緯がある。また、今回は8月30日から9月3日まで、神奈川中央交通より連節バスを借りて走らせるが、その中で走行空間の検証を行い、課題があるところには改良を施していきたいと考えている。他に振動などといったその他の実証も行う予定であるため、結果については報告させていただきたい。
- ・また、回送路は混み合う路線なのではないかということについては、交通量調査などのデータを踏まえて計画しているが、特に水道遊園前の交差点は今でもバスがやっと曲がっているような状況なので、きちんと検証していきたいと考えている。

★発言者4（女性）

- ・例えば、青山まで車で行き、そこからBRTで古町まで行こうとした時に、青山に駐車場は確保されるのか。
- ・また、この事業に市の予算は具体的にどのくらい見込まれているのか。

○新潟市

- ・まず、マイカーから公共交通への乗り換え、パークアンドライドについてだが、青山の乗り換え空間については、暫定型ということで既存の道路空間を使って整備していくが、今後本格的なターミナルの可能性について検討を進めていきたいと考えている。その際には、バス相互の乗り換えだけではなく、例えば自転車やタクシーを併せた交通ターミナルや、パークアンドライドの可能性についても検討を進めていきたいと考えている。
- ・なお、第2期として新潟駅連続立体交差事業が進むと新潟駅の高架下をバス交通が通れることとなるため、あわせてBRTを鳥屋野潟方面へ延伸したいと考えている。その際には、鳥屋野潟周辺には大きな施設や未利用地もあることから、パークアンドライド駐車場を整備し、そこでマイカーから公共交通に乗り換え、都心軸に入っていくということも検討していく。パークアンドライドは、まちなかの公共交通の環境や優位性を高めるうえで、大切な施策かつ有効な事業であるため、前向きに検討を進めていきたい。

- ・市の予算については、第1期である平成27年夏前開業の段階までで約13億円の事業費を予定している。その後、専用走行路の整備など第1期完成型までは約30億円を想定している。

※ 説明会で出していただいた意見の他、当日提出していただきましたアンケートで、以下のようなご意見をいただきました。

#### OBRTの運行計画(案)とバス路線(案)について

- ・確かに急ぎすぎ。説明がもっと具体的に、隠し事がないように思えるようになれば賛成にやぶさかでない。
- ・今までの交通で支障はない。地方から病院に行くのにマイカー規制があると非常に困る。
- ・青山は住宅地で混み合っているため、そこに人、車、バスが集中するのは大変。もう少し延ばして小針や坂井輪の辺りにしては。
- ・乗り換えが増えると利用者が減るのでは？
- ・連節バスは必要なのか。予算額も半端ないので、慎重に時間をかけるべき。
- ・走行路の除雪は、今の雪の降り方に対応できるのか。路肩に多くの雪が残る状況で、バスの乗り降りに問題が出ないのか。
- ・市民オンブズマンがストップをかけ、新聞でも批判されているにも関わらず、何故これほどまでにしたたかなのでしょうか。市民は失敗なのは目に見えているからこそ、反対しているのです。

#### ○その他

- ・新潟は道が広くない。そこに導入するからには萬代橋など4橋への誘導、利用方法、規制等まで説明してくれればイメージできていくと思う。
- ・白山駅、青山の両方に十分な駐車場を設けてほしい。
- ・市中心部から離れている西蒲区では、地域の課題や要望に沿った公共交通の確立に努めてほしい。高齢者は免許証の返納や運転そのものが出来ず、家族の協力にも限界があることから、その移動手段はバスに依存するしかないので、地方の現状をご理解いただき、空白地や廃止された路線の復活等で住民の足を確保してほしい。
- ・「検討」という言葉は使わずに、「やらない」と言った方が良い。
- ・新潟交通が努力すべきことについては、市が口やお金を出すべきではない。平成27年度実施については、もっと時間をかけて良いのではないかと思う。
- ・今回の説明とは直接関係ないが、高速バス「巻地域振興局前」のバス停は老朽化が進み、雨漏りが激しい。これから雨、雪の季節になるので修理していただくと大変助かる。

以上